

オトナの課外授業 2025

【発売日】
2025年1月6日(月)



サラマンカ
オンラインチケット

【チケットのお求め】 サラマンカホールチケットセンター 窓口、電話 058-277-1110(9:00~21:30)

【シリーズ1】 宮沢賢治文学の感性

2025年4月6日(日)
14:00~16:00(受付13:30)

【シリーズ2】 J.S.バッハの人生とその音楽

2025年5月10日(土)
14:00~16:00(受付13:30)

【シリーズ3】 続ウィーン・フィルのお話

2025年6月7日(土)
14:00~16:00(受付13:30)

【シリーズ4】 「種を蒔く」~愛されるオーケストラであり続ける

2025年7月13日(日)
17:00~18:30(受付16:45)

【シリーズ1】 宮沢賢治文学の感性

2025年4月6日(日) 14:00~16:00(受付13:30)

宮沢賢治は、大人から子供まで、幅広い層に知られている作家です。一方で「なんだかよくわからないのです」と言う声もしばしば耳にします。本日はこんな宮沢賢治の〈音〉に焦点を当てながら、彼の独特な感性や感覚によって彩られた不思議な文学の魅力をご紹介します。岩手・花巻の自然と交歓するように作品を紡いだ賢治が描いた世界は「イーハトーヴォ」と呼ばれ「罪や、かなしみでさへそこでは聖くきれいにかまやいてゐる。」(『注文の多い料理店』広告文より)世界であるといえます。このような賢治ワールドについて、具体的には、童話「銀河鉄道の夜」「風の又三郎」「セロ弾きのゴーシュ」などを取り上げながら解説していきます。



講師:ソコロワ山下聖美(NHK「100de名著 宮沢賢治スペシャル」指南役)

会場:OKBふれあい会館 3階 301中会議室

定員:80名 料金:1,000円

関連公演 シリーズ賢治Ⅲ「セロ弾きのゴーシュ」

2025.4/12(土) 15:00開演(14:30開場)

全席指定1,500円(サラマンカメイト1,350円)

サラマンカメイト先行発売2025.1/6(月) 一般発売2025.1/10(金)

Series 1

【シリーズ2】 J.S.バッハの人生とその音楽

2025年5月10日(土) 14:00~16:00(受付13:30)

J.S.バッハは「音楽の父」と呼ばれるほど、誰もが聴いたことのある作曲家です。その音楽はどのように創作されたのか、キリスト教会とどのように関わり、その音楽はどのような目的のために作曲されたのか、バッハの名曲を様々な角度から紹介します。



講師:椎名 雄一郎(オルガニスト)

会場:OKBふれあい会館 14階
展望レセプションルーム

定員:80名 料金:1,000円

関連公演 リオネル・アヴォ オルガン・リサイタル

2025.7/4(金) 19:00開演(18:30開場)

全席指定1,500円(サラマンカメイト1,350円)

サラマンカメイト先行発売2025.3/21(金) 一般発売2025.3/28(金)

Series 2

【シリーズ3】 続ウィーン・フィルのお話

2025年6月7日(土) 14:00~16:00(受付13:30)

2023年に大好評だった「ウィーン・フィルのお話」の第2弾!NHK-FMやEテレで放送の〈ウィーン・フィル ニューイヤーコンサート〉生中継の解説者として、またNHKラジオ第1「音楽の泉」への出演でお馴染みの音楽評論家 奥田佳道氏が、ウィーンとウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の歴史や魅力をさらに語ります。



講師:奥田 佳道(音楽評論家)

会場:OKBふれあい会館 14階 展望レセプションルーム

定員:80名 料金:1,000円

関連公演 ヘーデンボルク・トリオ

2025.6/21(土) 15:00開演(14:30開場)

S席5,000円 A席3,000円(サラマンカメイト:S席4,500円 A席2,700円)

サラマンカメイト先行発売2025.3/7(金) 一般発売2025.3/14(金)

Series 3

【シリーズ4】

「種を蒔く」~愛されるオーケストラであり続ける

2025年7月13日(日) 17:00~18:30(受付16:45)

1988年、岩城宏之の強いリーダーシップのもと、日本初の常設室内管弦楽団〈オーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)〉が誕生。2022年9月にOEKのアーティストック・リーダーに就任した広上淳一氏は、終演後に自らコーヒーを振る舞う「Junichi Café」や楽団員と共に金沢百番街内カフェでのミニコンサートに出演するなど、地域に密着した活動を展開。まさにリーダーとしてオーケストラを牽引しています。「楽団はその町その地方その国の平和の象徴」と語るマエストロがOEKと共に目指す「オーケストラ」の姿とは…。



講師:広上 淳一

(指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢 アーティストック・リーダー)

会場:サラマンカホール

定員:100名 料金:1,000円

関連公演 オーケストラ・アンサンブル金沢

2025.9/21(日) 14:00開演(13:30開場)

S席5,500円 A席4,500円(サラマンカメイト:S席4,950円 A席4,050円)

サラマンカメイト先行発売2025.6/9(月) 一般発売2025.6/16(月)

Series 4

【シリーズ1】
4月6日(日)

ソコロワ山下聖美

(NHK「100de名著 宮沢賢治スペシャル」指南役)



文芸研究家、日本近代文学研究者。日本大学芸術学部教授。1972年生まれ。2000年、日本大学大学院芸術学研究課博士後期課程修了、博士(芸術学)。宮沢賢治及び林芙美子など女性作家の研究に従事。著作に『一〇〇年の坊っちゃん』(D文学研究会 2007)『新書で入門 宮沢賢治のちから』(新潮新書 2008)『宮沢賢治 呪いの構造』(三修社 2009)『女脳文学特講一芙美子・翠・晶子・らいてう・野枝・弥生子・みすゞ』(三省堂 2011)『別冊100分de名著 集中講義宮沢賢治』(NHK出版 2018)、『私の宮沢賢治 豊穣の人』(ソレイユ出版 2018)、『林芙美子とインドネシア 作品と研究』(鳥影社 2022)など多数。

【シリーズ2】
5月10日(土)

椎名 雄一郎

(オルガニスト)



東京藝術大学音楽学部器楽科オルガン専攻卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。第1回ダラス国際オルガンコンクール第2位。第12回ライブツィヒ・バッハ国際コンクール第3位。NDR音楽賞国際オルガンコンクール優勝。ウィーン国立音楽大学を満場一致の最優秀の成績で卒業。スイス、パーゼル・スコラカントルム音楽院に留学。コジマ録音よりCD「バッハのオルガン解体新書」、「メンデルスゾーンオルガン作品集」などをリリースし、レコード芸術特選盤に選ばれる。また春秋社より「パイプオルガン入門」を出版する。現在、東北学院大学文学部総合人文学科教授、同宗教主任、同宗教音楽研究所長。日本基督教団吉祥寺教会オルガニスト。



【シリーズ3】
6月7日(土)

奥田 佳道

(音楽評論家)



東京生まれ。ヴァイオリンを学んだ後、ドイツ文学、西洋音楽史を専攻。ウィーン大学に留学。くらしき作陽大学講師、エリザベト音楽大学講師を務めた。NHK、日本テレビ、テレビ東京、WOWOWなどの音楽番組に出演。20年以上に渡って「ウィーン・フィル ニューイヤーコンサート」生中継の解説をNHK-FM、BS、Eテレのいずれかで行った。現在日曜朝のNHK「音楽の泉」に出演中。また「ラジオ深夜便くクラシックの遺伝子」(隔月)、FM「オペラ・ファンタスティカ」にも出演している。著書に「これがヴァイオリンの銘器だ」(音楽之友社)、「1冊でわかるポケット教養シリーズ バイオリンを知る本」(YAMAHA)他。

【シリーズ4】
7月13日(日)

広上 淳一

(指揮者、オーケストラ・アンサンブル金沢アーティスティック・リーダー)



東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。1984年、26歳で「第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクール」に優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放送響、コンサートヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィルのポストを歴任、このうちノールショピング響とは94年に来日公演を実現、さらに米国ではコロンバス響音楽監督を務めヨーヨー・マ、五嶋みどりをはじめ素晴らしいソリストたちとともに数々の名演を残した。2008年4月より京都市交響楽団常任指揮者を経て2014年4月より常任指揮者兼ミュージック・アドバイザー、常任指揮者として13シーズン目の2020年4月より2022年3月まで京都市交響楽団第13代常任指揮者兼芸術顧問を務めた。2015年には同団とともにサントリー音楽賞を受賞。現在はオーケストラ・アンサンブル金沢アーティスティック・リーダー、日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO(芸術顧問)、札幌交響楽団友情指揮者、京都市交響楽団 広上淳一。また、東京音楽大学指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。2025年よりマレーシア・フィルハーモニー管弦楽団音楽監督に就任。